

芸豪烈伝その14

たまがわ・ももたろう
玉川桃太郎

眞実一路
「誠実」が服を着た浪曲師

写真・森 幸一文・おさだ権助



おとぎ話の桃太郎は気はやさしくて力持ちだ。高橋英樹の「桃太郎侍」も悪人どもをたたき切る正義漢だ。

さて、浪曲の桃太郎は？

力強さと、ほのかなユーモアが漂う舞台は東京の浪曲界では貴重だ。「きび団子」を土産に桃太郎宅を訪ねた。

40歳、50歳はハナタレ小僧。60、70歳代からが正念場と、伝統芸の世界で

はい。

それも長命だけなら「鶴は千年、亀は万年」(ホントかね)に、かなわない。

長生きをして芸を磨くのだから、浪曲も並大抵の苦勞じゃない。

政界や実業界では、ときおり老残の身で権力にしがみついた醜い光景がみられるが、浪曲は声が出なくなったら舞台上がれない厳しい世界だ。

この浮き沈みの激しい競争社会を55年も戦い抜いて来たのが、桃太郎だ。

「時代がよかったんでしょ。浪曲の黄金時代を経験してますからね。

「鯛も売れば鯛も売れる」でね。他に能もないのに、おやじ(二代目・勝太郎)のおかげで食ってこられました」

12月17日(日)に「玉川桃太郎 芸能生活55周年記念公演」を浅草は木馬亭で行なう。ゲストは玉川勝太郎やイエス玉川、玉川福太郎ら玉川一門が花を添える。(詳しくは14ページ)

この公演の企画者で浪曲研究家の芝清之さんは、

「木馬亭が昭和45年に開場してから25年間、最初から出演してくれてましてね。その恩に報いたい気持ちで開く会です。

ひとづきあいの手先な人で、もっと社交的だったら「看板」も大きくなっていたでしょうね。

二代目の玉川勝太郎の節、その節のおわりに独自の工夫をほどこして、い

たまがわ・ももたろう 本名・中村勝司。栃木県宇都宮出身。大正12年うまれ、71歳。昭和16年、17歳で二代目・玉川勝太郎に入門。「冬の夜、隅田川に向かって声を出しましたよ。寒稽古です。平手造酒じゃないけど血へどを吐くまでやったよ」。趣味は釣り、相撲、パチンコ。



愛妻の祐子夫人と。苦勞の山坂を越えて25年。「これまでの55年はね『浪花節だよ、人生は』という、かんじがピッタリだな」(赤羽の自宅にて)

まも力量は十分ですよ」

現・玉川勝太郎(三代目)は、「桃アニイは、なにごとともまじめで曲がったことが嫌いな性格です。人徳があり、他人の悪口をいわない、浪曲界でも指折りの義理がたいひとです。」

若いころは気短かで、おやじ(二代目)に、つかかるんですよ。「一刻者ですよ。」

桃アニイの芸はキチンとしていて、おやじの匂いがしますよ」

桃太郎は「忠治山形屋」や「小金井次郎」「銚子の五郎蔵」などが得意ネタだが、登場人物には正義漢の熱き血潮と温かい人情が通っている。桃太郎師の人柄をそのまま反映しているようだ。

17日の公演当日は「越の海勇蔵の生

い立ち」を演じるが、これも十八番。五尺の低い体軀を腰を落として頭からブチかます江戸の名力士・越の海の戦法さながらに、桃太郎の浪曲は正攻法でグイグイ押し進みますよ。

「自分の会を開くなんてガラじゃないんですけど、これからは、そう長くは活動できないでしょう。入場料を私への香典と思つて、おいでください」

「越の海勇蔵の生い立ち」では、幼い勇蔵を残して母はあの世にいく。桃太郎も産みの親を知らない身で、「このネタは、どうも他人事とは思えないんだよ」

取材に応じてくれた桃太郎師は、いずまいをただして誠実に応対してくれる。好きな言葉は誠実で、まさしく誠実の国から誠実を広めにやってきたような印象だ。

25年つれそつていて、合三味線の祐子夫人も桃太郎師を、「誠実なんですよな。」

やさしくて、面倒みが良くて。そして引つ込み思案で、決して他人を押し退けていくタイプじゃないですね。

浪曲の稽古は反省しながら、よくやりますよ。

難点といえば、細かいところに気が回りすぎるんですよ。私がおおざっぱで男みたいな性格なんです。それでね、このひとが掃除をするんですよ」

桃太郎師が席を外すと、祐子夫人は



「自分独特の桃太郎節を作ろうと修行してきました。字あまりでも字たらずの文句でもビタリと、きめる桃太郎節を作りえたとっています」

両手の人指し指を交差しながら、「毎日、これなんです、チャンチャンバラバラ。ほっほっほ」

あけつぷろげの奥さんに誠実一途の浪曲師か。いい夫婦だなあ。

桃太郎師は15年以上も糖尿病や関節炎を患っているが精神力で舞台を勤めている。

「老兵は死なずで、気力ががんばっていますよ。」

私は義理と人情がからんだ封建的な時代を過ごしたが、いまは全く様変わりしました。若手はいろいろ勉強して、ふんばって浪曲を、もう一度さかんにしてほしいですよ」

ご意見番としての師匠の存在意義はますます高まることだろう。

「桃太郎侍」の老後が、いまの桃太郎の姿なんだな、うん。

浪曲…これほどすばらしい芸は他にはないと
14
52
思います。

浪曲家の皆さん…頑張ってください。
多くのファンを楽しませて下さい。

葛飾区・坂本豊吉